

謹 弔

次の会員がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

佐々木 隆 義 氏 下関市医師会 4 月 10 日 享年 87

編 集 後 記

振り込め詐欺はなぜなくなるか — 人は心理的空間で動く

世界一の脳神経外科医の手術を見ようとチューリッヒに行き、ホテルでもらった地図と方位磁石を頼りに病院を目指した。地図ではやがて川に行き当たるはずなのに、一向に川が見えてこない。近くにいた人に尋ねたが、英語が通じず困っていた。そこに、たまたま留学中の日本人が通りかかり、反対の方向に來ていると教えられた。なぜそのようなことが起こったのか。この時は、なんと、地図の上が北ではなく南であった。私の頭の中に、地図というものは「上が北」という思いが刷り込まれていたために間違いが起こったのだ。

人は心理的空間で動いている。心理的空間は自分が理解した世界である。いろいろな情報を頭の中に取り入れて構築し、心理的空間を形成する。この心理的空間と物理的空間（皆に共通の空間）が一致した場合には、間違いが起こらない。心理的空間は、環境因子と人間の特性によって出来上がる。忙しい、急いでいる、表示が似ているなどの環境因子と、物事を簡略化して判断するといった人間の特性により、心理的空間が物理的空間と合わなくなることがある。これが、思い込みや勘違いである。環境因子を改善することは可能であるが、人間の特性は教育や訓練でも改善することは難しいという。

振り込め詐欺は高齢者が標的になっている。詐欺グループは、高齢という人間特性や、孤独であるという環境因子を利用して、巧みに自分たちに都合の良い心理的空間を作り、高齢者にお金を振り込ませる。高齢者を詐欺グループから守るには、一人暮らしにしないなど、環境を変える必要がある。しかし間違った心理的空間を作ろうとする人間がいる限り、この犯罪は無くならない。

医療の現場でも心理的空間と物理的空間の不一致がおこるため、あらゆる努力をして予防に努めている。指差し、呼称による確認により、人間特性によるミスを少なくすることに加えて、類似薬品名の削除や同姓同名の警告表示など、環境面の整備を行っている。いろいろな分野でも安全神話が問われており、心理的空間と物理的空間のギャップの調整は、人の地道な永続的作業にかかっている。

ところで、なぜ地図は「北が上」なのか。北半球の人が、北を中心にコンパスを使って航海図を作ったという説がある。南半球の国の地図はというと、やはり「北が上」で、南が上なのはお土産用の地図だけという。私が見た地図は南半球のお土産だったのか？

(理事 山下 哲男)